



梅雨後半の高温・多湿状態により、輪紋病・黒斑病等の果実腐敗性病害が感染拡大が心配されます。梅雨明けまでは特に予防散布を徹底してください。

◆ **西洋梨**の薬剤散布（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

☆ 7 月上中旬の薬剤散布（前回より **20 日後**）

散布時期	7 月 5 日～10 日	◆ 散布日：7 月 日
散布薬剤	水 1000 当り 展着剤 10ml ナリアWDG 50g（前日、3回） *注意事項③参照 サイアノックス水和剤 100g（7日前、3回）	◆ 散布量： リットル
対象病害虫	輪紋病、ハマキムシ類、シンクイムシ類	
散布量	10アール当り：600リットル以上	
注意事項	<p>① 輪紋病の発生が心配される場合は、オキシラン水和剤 500 倍（3 日前、9 回）を 6 月末に特別散布する。有機銅成分を含む薬剤（オキシラン水和剤やキノンドーフロアブル等）の使用回数は合計で 9 回以内とする。</p> <p>② ナリア WDG は、ピオーネ、サニールージュに薬害を生じる恐れがあるので飛散しないようにする。</p> <p>③ 毎年、輪紋病の発生が多い園は、ナリア WDG に代えて、IC ボルドー412 の 30 倍（100 リットルに 3.3 kg）でもよい。ただし、他品目への飛散に十分注意する。</p> <p>④ 葉やけ防止のため、高温時の散布はしない。また、降雨が心配される場合は散布を見合わせる。葉やけの起きやすい条件は、①薬剤散布直後の降雨、②急激な高温、乾燥とその後の多雨等です。</p>	

（参考）

西洋梨有袋 7 月中下旬の薬剤散布予定：7/20～25（前回より 15 日後）

◆ 西洋梨 6 月末～7 月中旬の重点作業 *必ずお読みください。

① 仕上げ摘果・袋掛け

果実肥大促進・輪紋病感染回避のため、6 月 30 日までに袋掛け作業を完了してください。（7 月上旬に支部別園地点検を実施します）

② 土壌水分管理（土壌水分の激変を緩和）

- 梅雨前半も少雨状態が続いています。極度の土壌の乾燥は果実肥大に大きく影響します。引き続き、定期的なかん水を行ってください。
- 梅雨明け後の急激な土壌乾燥防止のため、可樹冠下に敷きワラ等のマルチを早めに行ってください。

③ 雑草管理：梅雨期間に雑草が伸びてきています。害虫の発生源となりますので、園内除草を徹底してください。

- 除草剤使用基準：バスタ液剤（水 1000 当り：バスタ液剤 500ml）

和梨の薬剤散布は裏面をご覧ください。

◆ **和梨**の薬剤散布（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

【有袋】 7月上旬の薬剤散布（前回より 15 日後）

散布時期	7月5日～10日 *注意事項①参照	◆ 散布日：7月 日 ◆ 散布量： リットル
散布薬剤	水 100リットル 展着剤 20ml ナリアWDG 50g（前日、3回） *注意事項②参照 スミチオン水和剤40 100g（14日前、6回）	
対象病害虫	黒斑病、輪紋病、ナシヒメシンクイ、カメムシ類、クワコナカイガラムシ	
散布量	10a 当り：450リットル以上	
注意事項	① 前回散布が遅れた場合は、今回の散布を前倒して実施する。 ② ナリアWDGは、ピオーネ、サニールージュに薬害を生じる恐れがあるので飛散しないようにする。 ③ 通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、固着性展着剤のアビオンEの1,000倍（100リットル当り100ml）を使用すると、薬液付着効果が高まる。	

（参考）和梨有袋 7月下旬の薬剤散布予定：7/20～25

【無袋】 6月末の薬剤散布（前回より 10 日後）

散布時期	6月25日～30日 *注意事項①参照	◆ 散布日：6月 日 ◆ 散布量： リットル
散布薬剤	水 100リットル 展着剤 20ml ナリアWDG 50g（前日、3回） *注意事項②参照 スミチオン水和剤40 100g（21日前、6回）	
対象病害虫	黒斑病、ナシヒメシンクイ、カメムシ類、クワコナカイガラムシ	
散布量	10a 当り：450リットル以上	
注意事項	① 前回散布が遅れた場合は、今回の散布を前倒して実施する。 ② ナリアWDGは、ピオーネ、サニールージュに薬害を生じる恐れがあるので飛散しないようにする。 ③ 通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、固着性展着剤のアビオンEの1,000倍（100リットル当り100ml）を使用すると、薬液付着効果が高まる。	

【無袋】 7月上旬の薬剤散布（前回より 10 日後）

散布時期	7月5日～10日 *注意事項①参照	◆ 散布日：7月 日 ◆ 散布量： リットル
散布薬剤	水 100リットル 展着剤 20ml *注意事項②参照 ベルコートフロアブル 66ml（14日前、5回） 劇オリオン水和剤40 100g（3日前、2回） *注意事項③参照	
対象病害虫	黒斑病、輪紋病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、カイガラムシ類	
散布量	10a 当り：450リットル以上	
注意事項	① 前回散布が遅れた場合は、今回の散布を前倒して実施する。 ② 黒斑病の発生園は、ロブラール水和剤1,500倍（14日前、5回）を加用する。 ③ オリオン水和剤40は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。 ④ 通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、固着性展着剤のアビオンEの1,000倍（100リットル当り100ml）を使用すると、薬液付着効果が高まる。	

（参考）和梨無袋 7月下旬の薬剤散布予定：7/20～25